

大腸ポリープ (内視鏡的治療)



市立大津市民病院における、2019年度下部消化管内視鏡検査件数は2,219件、大腸ポリープに対する内視鏡的治療は481件でした。日本消化器内視鏡学会指導医2名、専門医6名でチーム医療を行っています。

食生活の欧米化などにより、大腸ポリープや大腸がんの頻度は増加しています。本院では、大腸ポリープや大腸がんをより早い段階で発見して内視鏡的に治療を行っています。

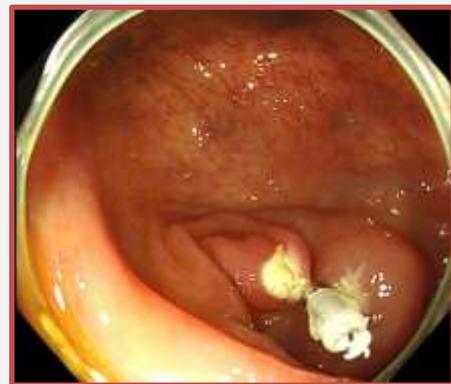


内視鏡的大腸ポリープ切除術について

- ① 肛門から内視鏡を挿入し、病変部の根元に生理食塩水を局注して病変部を膨隆させます。



- ② 病変部を周囲の正常粘膜ごと高周波で焼灼切除します。
③ 切除部位に出血予防などのためクリップをかけることがあります。



切除した検体は、病理検査へ提出し、最終診断を受け、その後の治療や経過観察の判断材料とします。すべての結果については、後日主治医より説明致します。

おおよその入院期間と費用について

現在、本院では入院（1泊2日ないし2泊3日）の上、大腸ポリープに対する内視鏡的治療を行っています。

手術名称	入院期間	点数	3割負担の方の概算 (限度額適用なしの場合)
内視鏡的大腸ポリープ・粘膜切除術 (直径2cm未満)	3日間程度	16,000点程度	4万～5万円程度

概算は、限度額を適応していない金額です。

※70歳未満の方が限度額認定証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:ウ(年収約370万～770万円)の方で10万円前後です。

※70歳以上の方は高齢者受給者証をご提示いただくと、

1ヶ月ごとの自己負担額が、所得区分:一般の方で57,600円程度です。

限度額は所得により異なります。食事代や差額ベッド代は限度額認定証の対象外です。

私

たちにお任せください

